

◆ いきがい交流センターしみず 令和6年度 事業報告 ◆

◇概 要◇

- 設置主体 松山市
- 運営主体 松山市社会福祉協議会
- 協力団体 清水地区社会福祉協議会、清水地区民生児童委員協議会
- 目 的 小学校の余裕教室等を活用し、高齢者に対し社会的孤立感の解消および心身機能の維持向上を図るための地域交流事業や講座等を実施し、高齢者福祉の向上に資する。また、福祉、教育関係機関等との連携を図り、松山市民、特に清水地区を中心とした城北エリアに居住、活動する人々の主体的運営による福祉・文化・レクリエーション等の学習及び相互扶助実践を通して、福祉・学習コミュニティの形成と融合推進の地域福祉拠点とする。

◇事業内容◇

地域交流事業「友遊しみず」

高齢者が週2回、創作活動等を通して生きがいづくりや仲間づくりの輪を広げ、また、脳トレゲームや体操、健康講座等により心身機能の維持向上を図るとともに、清水小学校児童との交流授業や昼食交流にて多世代間交流を行い、相互への思いやりを深める。

コロナ禍を境に利用者の参加形態が少しずつ変化しており、週1回の参加や午前だけの参加等もみられる。また、児童との交流においては、クラス単位で実施することが増えている。

- 対 象 者 市内在住の介護保険サービスを利用していない概ね65歳以上の方
- 開催日時 月・木曜日の10:00～15:00（祝祭日・年末年始を除く）年間 89回開催
- 内 容 健康チェック、ストレッチ体操、レクリエーション・ゲーム、脳トレ、創作活動、俳句、絵手紙、健康講和 など
- 運営スタッフ 4名 活動援助員(1人)、看護師(1人)、介助員(3人)、協力会員(22人)
※介助員は協力会員の中から選出され交代制
協力会員は午前と午後で交替制
- 登録利用者数 21人（男性3人、女性18人）
- 平均年齢 83.2歳
- 延利用者数 1,006人（1回の平均利用者数 11.3人）



実習生とゲーム(輪投げ)で交流



チューリップのちぎり絵



もちつき
(清水小3年生との交流)

地域交流事業「交流授業」 清水小学校児童との交流授業

小学校との複合施設であるという特徴を生かし、児童と「友遊しみず」の利用者や地区社協関係者、地域住民、そして、しみずサポートボランティア(大学生等)との多世代交流を毎年実施している。

年度当初に各学年の年間指導計画に基づいて話し合いを実施し、交流授業の前にも教職員と友遊しみずスタッフ・当センター職員で詳細な打ち合わせを行っている。また今年度より、交流授業実施後には、次年度に向けた授業づくりのための教職員にアンケートを提出していただいた。なお、交流給食については、再開できていない。

- 交流回数 交流授業(46回)、学校行事(6回)、昼食交流(0回)
- 延べ人数 3,915人(児童 3,673人、教職員 242人)
- 内 容
 - 1年生:新入生に、友遊しみず手作りのスマイルストラップをプレゼント
 - 2年生:町たんけんの一環で、いきがい交流センターの施設見学
 - 3年生:ふれあい教室の講師・生徒が名人となり、クラスごとに太極拳を体験
 - 4年生:児童が学んだ防災について、クイズを交えながらの発表等で交流
 - 5年生:当センター事務職員・友遊しみずスタッフの5種類の職業を体験
 - 6年生:児童が企画し、修学旅行クイズやゲームで友遊しみずと交流



1年生「スマイルストラップをプレゼント」



2年生「どきどきわくわく町たんけん(施設見学)」



3年生「清水の名人に学ぼう(太極拳)」



4年生「共につながる～つながろう!清水の町と～」



5年生「職場体験(友遊しみず看護師)」



6年生「友遊しみずとの交流会」

地域交流事業「地域交流イベント」 清水小ふれあいバザーへの参加

清水小学校PTA主催のイベントで、児童やその家族、地域住民と交流することで、福祉観の醸成と地域コミュニティの育成を図ることを目的に参加、協力した。今回は、木製のキーホルダーに将来の夢を描き、願いを込めたストラップを付け完成させた。

多くの児童と家族の参加があり、しみずサポートボランティアの協力も得て盛況であった。

- 交流回数 1回
- 内 容 「オリジナルキーホルダー」の作製
- 参加人数 60名



キーホルダー作製コーナー

●シニアライフ講座【9回講座】

高齢者の生活に役立つ福祉や生活の情報などを提供し、高齢者やその家族が安心して暮らせる環境づくりを目的に実施した。昨年度までは応募者多数で抽選となっていたが、今回は申し込み後に、家族の介護等で辞退者もあり受講者が定員に満たなかった。

初回オリエンテーションでは、緊張をほぐすゲーム・自分を見つめ直してもらおうグループワーク等、受講生が意欲的に取り組む様子が多く見られるとともに、実習生の若い発言等もあり、活気のある講座となった。全受講後に行ったアンケートでは、「温かい雰囲気の中で受講できてよかった」、「シニアライフとして知っておくべきことや気づきがあった」との感想があった。

□講師 各種専門機関、専門家、NPO活動者など

- 内容
- ①オリエンテーション
 - ②住み慣れた地域でずっと暮らしたい
 - ③介護保険で未来をデザイン
 - ④知って安心！成年後見制度
 - ⑤相続と遺言のいろは
 - ⑥みんなで学ぼう認知症
 - ⑦介護者のストレスケア
 - ⑧終活1 ～人生の振り返り～
 - ⑨終活2 ～エンディングノートの作り方～



第1回
(オリエンテーション)

□対象者 市内在住の60歳以上の方や講座テーマに関心があり、全日程受講可能な方

□受講者数 14人(男性3人・女性11人)

□延受講者数 118人

●終活のススメ講座【4回講座】

人生の終焉を自分らしく迎えるため、自身の経験や思いを形にして、家族など次世代の人たちに伝えていくことを目的に「終活の始め時は今！」との副題にて実施した。

今回は男性応募者も多く、定員を1名超えて受け入れた。受講生の平均年齢は75歳。初回オリエンテーションの「人生を振り返ろう」では、受講生同士が打ち解けることができ、そして、自分自身のこれまでの人生を見つめ直すことのできる内容のオリエンテーションを実施した。

エンディングノートの作成に、取り組みたいと参加された方も多く、どの受講生も熱心に取り組む様子が見られた。

□講師 一般社団法人終活サポート協会 など

- 内容
- ①人生を振り返ろう
 - ②ためになるエンディングノートの活用法
 - ③もっと知りたい終活のこと
 - ④終活のリアルにせまる



第2回 (ためになるエンディングノートの活用法)

□対象者 市内在住の60歳以上の方や講座のテーマに関心があり、全日程受講可能な方

□受講者数 16人(男性7人・女性9人)

□延受講者数 59人

しみずサポートボランティアの活動

若者のボランティアが児童に寄り添い、児童と当センターを利用する高齢者との橋渡しの役割を担っている。主に、高校生・大学生が活動しており、コロナ禍以降サポボラミーティングの開催回数は、減少しているものの、メンバー同士が声をかけあい、開催回数も増えつつある。

昼休みの見守り活動では、近隣の愛媛大学の学生が授業の空きコマを利用して児童と楽しく交流を行っていた。また、教職員を目指す学生は、友遊しみずのプログラムや清水小との交流授業に積極的に参加し、利用者・児童から信望を集めていた。

5年生が、清水の町をもっとやさしい町にしようと取り組んでいる「やさしさボランティアリーダー」では、個人の活動を応援する表彰状やプレゼント等でボランティア活動の啓発にも取り組んだ。

□登録者数 19人（高校生4人、大学生14人、社会人1人）

□活動日数 75日

□延べ活動者数 144人



サポボラ企画「友遊しみずと児童クラブとのゲーム大会」



昼休みの見守り活動

ふれあい教室（清水地区社会福祉協議会主催）

清水地区及び近隣在住の60歳以上の方を対象に、「コーラス」「太極拳」「絵手紙」「茶道」「英会話」「書道」「フォークダンス」の7教室が、技能向上だけでなく、ふれあいや親睦を深めながら、地域住民同士の助け合いにもつながる活動を行っている。

「第22回しみず祭」では、教室ごとに体験していただく内容等、趣向をこらした発表ができていた。また、「夏休みわくわく企画」では、児童クラブの子ども達との交流を楽しんでいた。

清水小3年生対象の「清水の名人に学ぼう」や今年度新規受け入れをした、松山北高生との体験学習では、「絵手紙」等の講師・教室生に協力いただき、児童・生徒との交流が活発に行われた。

□開催回数 199回

□延べ人数 2,309人（男性175人、女性2,134人）



第22回しみず祭
（コーラス）



松山北高多世代交流
（絵手紙）



英会話教室の掲示板

清水地区社会福祉協議会との連携

当センターのコミュニティルームには、清水地区社会福祉協議会の事務局が設置されており、日常業務や役員ミーティング、会議開催など、地域福祉活動の拠点となっている。

当センター職員のコーディネートにより、清水小5年生の総合的な学習の時間「やさしい町 清水」での福祉体験学習(車いす体験・白杖歩行体験・高齢者疑似体験)や家庭科の調理実習、3年生と友遊しみずとの餅つき、6年生の卒業リボンの製作には、地区社協の執行役員や協力会員が授業のサポート等に協力いただいている。

また、センターへの視察研修には、地区社協事業紹介をするとともに、地域の歴史や実情を細やかに説明していただき、充実した意見交換等ができていた。

なお、当センターのコミュニティ花壇は、地区社協関係者の募金により、たくさんの花苗や球根が年間通して植えられている。



6年生 卒業リボンの製作協力



視察研修 (京丹後市網野町民協)

トーンチャイムボランティアの活動

平成24年に清水地区の協力会員を中心にトーンチャイムボランティアグループ『SKB80 チームK&チームB』が結成され、清水地区社協より承認を受け、現在は「トーンチャイムグループSKB80」として活動が継続している。

施設のデイサービス・地域行事、特に12月のクリスマスシーズンには演奏依頼が増えており、ボランティアで訪問活動が活発となった。毎月4~5回の練習を行い、当センターで開催している友遊しみず利用者との交流「トーンチャイムを楽しもう会」も定期的の実施できており、来年度の「しみず祭」へのオープニング演奏の出演を目指している。

□参加者 4人

□活動実績 24件／ 延べ人数 95人

施設・高齢者関係 9件

学校・児童関係 4件

その他 11件

□練習回数 51回／ 延べ人数 196人



トーンチャイムを楽しもう会

松山市地域包括支援センター味酒・清水との連携

当センター1階には、松山市地域包括支援センター味酒・清水があり、認知症サポーター養成講座や介護予防のための研修会等、高齢者へ学習等の機会・情報を提供している。さらに、当センターで実施している地域交流事業「友遊しみず」やふれあい教室等へ新規利用者を紹介いただいたり、利用者やその家族等からの介護相談に応じていただくなどしている。また、講師として介護保険制度について講座や清水小学校等の福祉体験学習にも協力をいただくなど、連携を図ることにより、地域福祉の拠点としての充実に努めた。

令和 6 年度 いきがい交流センターしみず 利用者数

事業名	延人数(人)
地域交流事業「友遊しみず」	1,006
清水小学校児童との交流事業等(授業 46 件・行事 6 件)	3,915
地域交流イベント(清水小ふれあいバザー参加)	60
清水小学校児童との昼食時間と昼休みの交流〈昼食交流は中止〉 (昼食交流 0 人、昼休み 2,373 人)	2,373
しみずサポートボランティアの活動(99 件)	144
シニアライフ講座 9 回 終活のススメ講座 4 回	177
ふれあい教室	2,309
トーンチャイムボランティアの活動(24 件)	291
清水地区社協会議等	380
清水地区社協役員等による業務	233
清水地区社協教室部会・ちくたく業務等	448
第 22 回しみず祭	400
視察(2 件)、実習(15 件)、取材(1 件)	69
合 計	11,805